

新クリーンセンターの建設候補地について

令和 8 年10月

奈良市 環境都市推進部 環境都市推進課

候補地調査業務の概要

市議会での予算案可決を受けて、本市は大和田町及び北之庄町の2候補地において、調査業務を実施しました。

候補地調査業務の内容

施設配置の検討

各種法規制やごみ搬入ルート、近接する住宅・自然環境・災害リスクへの配慮等の観点から、合理的な施設配置を検討。

アクセス道路検討

施設配置の検討などの結果をもとに、合理的なアクセスルートを検討し、その整備のための概算費用を算出。

地質調査

各候補地の代表地点におけるボーリング調査や、既往の地質調査の結果より、候補地周辺の地質の状況について評価を実施。

概略造成計画の検討

施設配置の検討や地質調査の結果をもとに、施設を建設するために土地を平らに整える「概略造成計画」を検討。

建設費概算見積徴収

施設配置の検討や地質調査の結果をもとに、施設の建設に必要な費用について、プラントメーカーから概算見積を徴収。

交通量調査・推計

周辺道路の交通量や車種等の調査を行い、調査結果や収集車等の通行台数から将来の交通量を推計。

候補地調査業務の結果

調査業務の内容について、以下のとおり取りまとめを行いました。（※懸念事項を赤字で示しています）

	大和田町北側	大和田町南側	北之庄町
道路交通への影響	・朝ピーク時に近傍交差点で渋滞が発生(最大1,450m、14分00秒)。 ・ピーク時の交差点容量は、計算上は余力がある。 ・新施設への代替路がなく、災害や事故時の通行止めによるアクセス困難がリスクとしてある。		・朝ピーク時に近傍交差点で渋滞が発生(最大1,820m、8分35秒)。 ・ピーク時の交差点容量は、計算上は余力がある。 ・幹線道路が複数あり、災害や事故時でもアクセス可能と想定される。
生物の生息状況	・過去の自然環境調査で水生生物等の絶滅危惧種が確認されているが、工事遅延リスクは小さい。 ・建設箇所周辺にオオタカの営巣が確認されており、営巣期の工事中断やモニタリング調査が必要となる可能性が高い。		・地蔵院川が近いため水生生物等の絶滅危惧種が生息している可能性はあるが、工事遅延リスクは小さい。
施設整備費	約528億円	約532億円	約515億円
維持管理・収集運搬費(20年)	約582億円	約582億円	約579億円
液状化対策	既往の地質調査結果を専門家に評価していただいた結果、 液状化対策が必要となる可能性 がある。		ボーリング調査の結果、直下型地震において 液状化対策が必要 となる。
電力インフラ整備	変電所において混雑解消のための変圧器更新（数十億円）が必要となれば、 工事負担金が高額となるリスク がある。		現時点で混雑等の情報は提示されていない。
工事期間の長期化リスク	オオタカ繁殖環境保全のための 工事中断リスク や アクセス道路工事が1年以上必要 となる。	同左のほか、造成規模が大きく全体スケジュールが 遅れる可能性 がある。	工事期間が長期化するリスクは、他候補地に比べて小さい。

調査業務の結果について、市議会において集中的に審議いただきました。主な意見は以下のとおりです。

	大和田町北側	大和田町南側	北之庄町
全般	・ 報告書において、大和田町における工期延長リスクが多く報告をされている。現在の状況を鑑みると、工事にかかる期間は候補地の選定にあたって、非常に重要性の高い項目にならざるをえないと考える。 ・ 工事にかかる費用、運搬コストについて、金額の差は非常に大きい。環境清美工場の大規模修繕は向こう10年間の稼動を見越しているのであれば、候補地の選定において、工期の問題は非常に大事なポイントになると思う。		
道路交通への影響	・ 災害時や事故時に代替路がなく、施設へのアクセスが困難となる。 ・ アクセス道路が1本しかなく、様々な検討を要するなど非常に問題点が多い。 ・ 大和田橋について、右折レーンや信号機がないことから、渋滞が生じることが想定される。 ・ 右折レーンのない大和田橋東詰交差点において、1日150台の車を捌くことができるのか。		・ 国道24号、西九条佐保線、木津横田線という代替ルートがあり、代替ルートがあるということは、防災拠点として非常に重要である。
経済性	—	・ 砂防指定地のため、補強土壁について県協議が必要であり、協議次第では工事費が増大する懸念がある。 ・ 砂防指定地のため、開発をする際に、追加の費用が生じてくると思う。	・ コスト面において北之庄町が有利である。
	・ 概算事業費について、大量の公金を使って行う事業であり、言うまでもなく大きな金額差があると感じた。		
その他	・ 住宅地に近すぎるのでは。 ・ 過去には降り続いた大雨によって、土砂災害が起こっており、北側平地部も、災害リスクが高い場所であると思う。	・ 砂防指定地であり、災害リスクが高い場所を候補地にする必要があるのか。 ・ 森林を伐採することに、法の規制があり、今後の候補地決定にも、重要な課題になるかと思う。	・ 建設に関する不安要素が少なく、京奈和自動車道、J R新駅、西九条佐保線が開通する予定であり、まちづくりのポテンシャルが非常に高いと考える。

候補地選定に関する市の方針

**調査報告書の内容、及び議会での議論など、総合的に勘案して、
市は、北之庄町を最終候補地として決定しました。**

候補地の位置図

